

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査  
《提供されている医療サービスの質の検証》

診調組 慢-4  
21. 8. 10

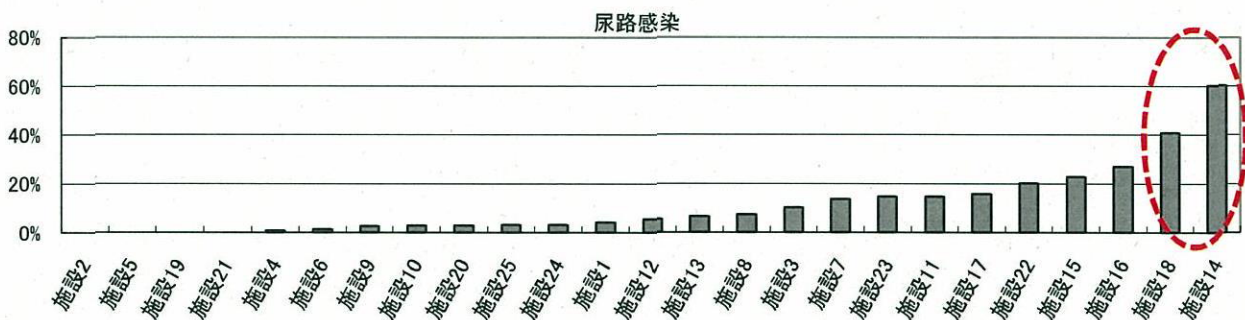
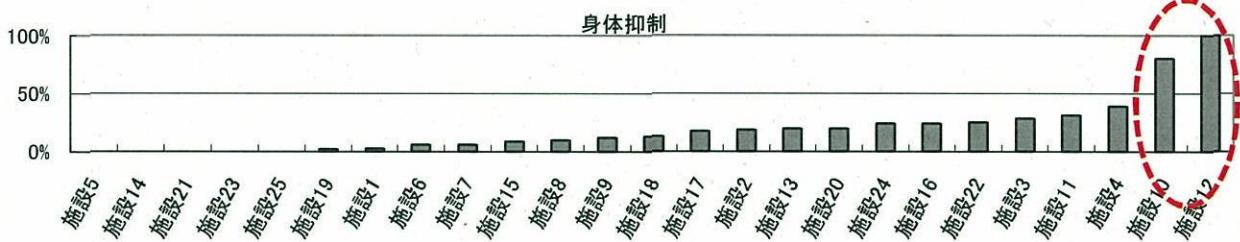
1. QI(Quality Indicator)の外れ状況が顕著であった病院に対するヒアリング結果

第2回分科会にて提出した「患者特性調査における Quality Indicator の試行」において、平均値からの外れ状況が顕著であった病院を対象に、提出されたデータの適切性についての確認を行った。

(1) 患者特性調査における Quality Indicator の試行(平成21年6月11日第2回分科会提出データの再掲)

(注)「外れ」とは、当該病院のデータが、「平均値+2標準偏差」よりも大きいことを意味する。

QI項目	病院数	分母の患者数	平均値	最大値	標準偏差	平均+2標準偏差	外れ値病院数
痛み	25	2047	4.3%	15.2%	3.7%	11.7%	2
褥瘡ハイリスク	25	1615	13.0%	31.4%	7.7%	28.5%	1
褥瘡ローリスク	24	432	2.7%	25.0%	5.7%	14.1%	1
身体抑制	25	2047	19.6%	100.0%	24.1%	67.8%	2
留置カテーテル	25	2047	14.6%	35.3%	9.6%	33.7%	2
尿路感染	25	2047	11.2%	60.3%	14.4%	40.1%	2
ADLの低下①	24	1649	7.5%	24.7%	6.1%	19.7%	1
ADLの低下②	22	253	10.7%	33.3%	11.0%	32.7%	2



(2) ヒアリング結果

施設番号	外れ状況の内容	施設側の回答(概要)
施設10	身体抑制が80%	ベッド柵を使用している。調査票記入に間違いはない。
施設12	身体抑制が100%	患者の安全を考慮して4連のベッド柵を使用している。調査票記入に間違いはない。
施設18	尿路感染が60%	発熱時に必ず検尿をしている。1度でも症状が認められると調査票上カウントしている。調査票記入には間違いはない。
施設14	尿路感染が41%	オムツの利用が多いからかもしれない。調査票記入に間違いはない。

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査  
 《提供されている医療サービスの質の検証》

2. 評価票から試算したQIと患者特性調査から算出したQIの比較

【分析方法】

レセプト調査の際にレセプトに添付されていた評価票からQIを算出し(1)、さらに同じ病院の患者特性調査結果からもQIを算出した(2)。分析可能であった50病院を対象とした。

なお、レセプト調査の調査月(1月)と患者特性調査の調査月(3月)が異なること、またそれぞれ算出方法が異なることに注意を要する。

(1) 現行の評価票から試算可能なQI項目と算出方法

項目名	分子	分母 (記載の無い場合、当月入院の患者を除く全患者)
褥瘡 ハイリスク	Ⅱ度以上が1箇所、Ⅰ度以上2箇所	ADL項目のうち、「ベッド上の可動性」か「移乗」のいずれかにおいて、4以上に該当した患者
褥瘡 ローリスク	Ⅱ度以上が1箇所、Ⅰ度以上2箇所	褥瘡ハイリスクに該当する患者を除外
尿路感染症	尿路感染症である	
ADLの低下	期初と期末を比べて、ADL区分が悪化している	

【評価票からのQI試算結果】

QI項目	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	平均+2標準偏差
褥瘡	50	2,360	<b>6.3%</b>	8.1%	0.0%	35.6%	22.5%
褥瘡 ハイリスク	46	1,740	<b>7.7%</b>	10.1%	0.0%	37.5%	27.8%
褥瘡 ローリスク	47	587	<b>2.3%</b>	5.0%	0.0%	23.1%	12.3%
尿路感染症	50	2,360	<b>6.2%</b>	14.4%	0.0%	95.0%	35.0%
ADL低下	50	2,360	<b>1.7%</b>	2.7%	0.0%	11.9%	7.0%

(2) 患者特性調査から算出可能なQI項目と算出方法〔再掲〕

項目名	分子	分母 (記載の無い場合は入院14日以内の患者を除く全患者)
痛み	中程度の痛みが毎日あるか、耐え難い痛みがある	
褥瘡 ハイリスク	I度以上の褥瘡がある患者数	寝返りか移乗の広範な障害、昏睡状態、栄養障害のいずれかに該当する患者に限る
褥瘡 ローリスク	I度以上の褥瘡がある患者数	褥瘡ハイリスクに該当する患者を除外
身体抑制	毎日身体抑制している	
留置カテーテル	留置カテーテルを挿入している	
尿路感染症	尿路感染症である	
ADLの低下①	過去90日間におけるADL自立度の悪化	在院日数90日以上 of 患者のうち、昏睡・末期・緩和ケアに該当する患者を除外
ADLの低下②	入院時と比較してのADL自立度の悪化	在院日数15日以上90日未満 of 患者のうち、昏睡・末期・緩和ケアに該当する患者を除外

【患者特性調査からのQI算出結果】

QI項目	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	平均 +2標準偏差
痛み	50	2,226	<b>6.0%</b>	6.8%	0.0%	26.9%	19.5%
褥瘡 ハイリスク	48	1,681	<b>16.0%</b>	11.3%	0.0%	62.5%	38.6%
褥瘡 ローリスク	48	658	<b>6.7%</b>	11.1%	0.0%	50.0%	28.9%
尿路感染	50	2,226	<b>7.4%</b>	15.1%	0.0%	93.9%	37.6%
ADLの低下①	50	1,769	<b>8.5%</b>	10.8%	0.0%	60.0%	30.0%
ADLの低下②	46	392	<b>8.1%</b>	12.4%	0.0%	50.0%	33.0%